

## 探しています 品川区内のツバメの巣

ツバメは、30年ほど前までは東京都心で普通に繁殖していました。東京駅周辺の丸の内や大手町をはじめ、上野駅、秋葉原駅、有楽町駅、品川駅、大井町駅、五反田駅など、主な駅で子育てしており、大勢の乗降客がヒナを見守り、その成長を楽しんでいました。しかし、最近では「巣なんか見たことないね」という声ばかり。今でも区内で繁殖しているのでしょうか。繁殖しているとしたら、巣は何個くらいあるのでしょうか。



子育て中のツバメの巣



巣材の泥や藁を運ぶツバメ

ツバメが繁殖するためには、餌となる昆虫（それも飛んでいる昆虫限定）が必要です。また、巣の材料となる泥や藁（わら・植物繊維）も、さらに巣造りに適した建物も必要です。

そして何よりも、ツバメの子育てを見守り、愛護してくれる人の存在が重要です。こうしたツバメが子育てできる環境は季節感があって人にとっても生活しやすく、教育的にも優れた環境といえます。



巣の下の糞受け  
ツバメは人に見守られてきた

ツバメの繁殖状況を通して品川区の環境を調べることができるし、環境の変化を知る基礎資料としても役立ちます。はたして区内では、ツバメがどれほど繁殖しているのか、筆者が現在担当している品川シルバー大学いきいきコースの講座「江戸東京の自然観察」の受講生や元受講生を中心に調査中です。ツバメは、ガレージや倉庫の壁や天井、駅や学校などの出入口などに巣造りする習性があります。5～6月は子育ての最中であり、親鳥が盛んに巣に出入りするのを見つけやすい時期です。6月22日現在、東急池上線荏原中延駅、立正佼成会品川教会（二葉1丁目）など20カ所で見つかりました。区内でツバメの巣を見つけたら建物名や住所などを、ぜひ品川区環境情報活動センターまでお知らせください。

唐沢孝一（NPO法人自然観察大学学長）

品川区環境情報活動センターはこちらです



HPのアクセスはこちらから↓



### しながわECOだより 2016年度Vol.1

発行：品川区都市環境部環境課  
編集：特定非営利活動法人 エコタウンしながわ  
発行日：平成28年6月21日  
住所：〒140-8715 品川区広町2-1-36 品川区環境情報活動センター内  
TEL/FAX：03-5742-6533  
E-mail：center@shinagawa-eco.jp  
HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は古紙を配合した用紙で作成しています

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

# しながわECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2016年度 Vol.1

## 環境学習講座のご案内

子ども向け、大人向け講座 開催予定!

小学生向け

### ピオトープの作り方

自由研究

- ・ピオトープってなんだろう？
- ・生き物の棲(す)みかを作るヒントがあります。
- ・ダンゴ虫と迷路で遊びます。……▶
- ・自由研究の参考に。(3年生以上の小学生と保護者)
- 【開催日】8月14日(日)
- 【募集】7月11日から
- 【講師】佐藤元氏ほか3名 (ピオトープ管理士、造園会社社長)



小学生向け

### お天気のおふしぎと気象実験

- ・雲や雨などお天気のおふしぎを学びます。
- ・ペットボトルで雲を作る実験を行います。
- ・気圧を感じてみよう……高い山の上では？ (1～3年の小学生と保護者)
- 【開催日】9月19日(月・祝)
- 【募集】8月21日から
- 【講師】日本気象予報士会 サニーエンジェルスのみなさん



小学生向け

### LEDで飛び出す3D装置作り

- ・人間が立体視できる理由を実験で体感します。
- ・LEDの3D装置を自作して理解を深めます。
- ・大好評の久保先生の講座が高学年向けにレベルアップ。(4～6年の小学生)
- 【開催日】10月2日(日)
- 【募集】9月1日から
- 【講師】久保利加子氏 (茨城県おもしろ理科先生講師)



### 天気図の

### 見方・読み方・作り方

大人向け

- ・気圧とは？ 雨はどのように降るの？ 風はどのように吹くの？など、気象の基本を学びます。
- ・天気図を見て、ということが分かるのでしょうか。
- ・実際に天気図を描いてみましょう。(中学生以上)
- 【開催日】9月11日(日)
- 【募集】8月1日から
- 【講師】平沼洋司氏 (元気象庁予報官 気象予報士)



大人向け

### さき布から「ぞうり」を作ろう

- ・受講者に持参いただく古布を使ってオリジナルのぞうりを作ります。
- ・2日で一足を仕上げる講座です。(2日とも参加していただける方、中学生以上)
- 【開催日】9月22日(木・祝)、23日(金)
- 【募集】8月21日から
- 【講師】宮嶋清司氏 (ぞうり研究家)



講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。  
HP：http://shinagawa-eco.jp/



# しながわ ECOフェスティバル 2016

5月22日(日)、透き通った青空の下で「しながわ ECOフェスティバル2016」が開催されました。当日の東京の最高気温は29.3℃で、強い日差しが降り注ぎ、日向では夏を思わせる暑さでした。



## (1)「ごみゼロ」を目指して

出展者のごみはご自分でお持ち帰りいただきました。ごみの量は毎年低水準を保っているようですが、これには参加者皆さんの協力が第一です。模擬店で買った弁当など、食べた後の容器、紙コップ、割り箸は、使った人が自分で「ごみ・資源回収場所」へ持って行き、分別するのは今や自然な行動になっています。



## (2)公園会場の使用電力

公園会場における使用電力は廃油を再利用したバイオ燃料を使った自家発電とグリーン電力によって賄われていました。

## (3)エコカー

水しか排出しない次世代エコカー「燃料電池車」と、環境にやさしい「電気自動車」の乗車体験ができ、筆者(環境情報活動センター担当者)も「燃料電池車」に乗車しました。電気自動車もそうですが、走行中は非常に静かでした。どちらも走行中に二酸化炭素を全く排出しないという共通点があり、これまで問題とされていたコストとインフラの整備が進み、今後の実用化がさらに進むことでしょう。



燃料電池車

電気自動車

## (4)小学生が保護者と参加したワークショップ

アニメワークショップ、ペットボトルで雲作り実験、絵手紙とけしゴムはんこ作り、アクリルたわしとボンボン飾り作りなど、楽しい工作や実験がありました。



その他にもたくさんの企画があり、参加者は楽しい1日を過ごすことができました。

## 山中小学校で空き缶踏み

5月19日(木)、山中小学校で毎月1回恒例の「空き缶踏み」が行われました。この活動はPTAが主催し、10:25~10:50の25分間の休み時間を利用して、当番のクラス児童全員が参加して行われます。現在山中小学校は全11クラスで、月ごとに当番のクラスが交代するため、1年で全クラスが1回は行うことになります。今日は6年生(1クラス)の担当です。

空き缶踏みを行うに当たり、先生から「けがをしないよう」「空き缶は足でつぶすこと」「缶をけらないこと、投げないこと、素手でさわらないこと」などの注意の後、



みんなが元気よく缶をつぶした後、PTAの保護者が、踏みつぶした缶を回収し、リサイクル袋に入れました。この後、回収業者に渡します。

空き缶は、児童や保護者、近所の方たちに持ってきていただいたもので、「季節によって、集まる飲料の中身の違いがあるのが面白い」との保護者の方のお話でした。

また、この活動1回で平均20kgほどの重量になるとのこと、1缶15~20gとすると1,000個以上の個数になります。



## 環境記者 情報交換会

環境記者の皆さんにお集まりいただき、年に3回情報交換会を行っています。6月に今年度1回目の会合を開きました。2006年に始めて以来、30回目の開催となります。

はじめに、まちづくりコーディネーターの佐山吉孝さんのお話を伺いました。本年度は3回に渡って「品川宿」を取り上げます。第1回の今回は、「品川宿1000年の歩み」というタイトルで数多くの画像とともに品川宿の歴史を辿っていきました。



続いて、環境記者の皆さんに、日頃の活動の様子や、興味を持っていらっしゃる事柄についてご報告いただきました。町内会で行っている「花いっぱい運動」、ボランティアグループによる環境整備活動、会社単位の緑化推進、清掃活動などの話題が出ました。また、小規模太陽光発電所事業に取り組んでいる記者さんからは、小売電力全面自由化以降の動向やソーラシェアリングについて伺いました。河川の水質や空き家問題に注目している方もいらっしゃいます。

今回も和やかな雰囲気の中、幅広い内容のお話を伺えて、様々な視点から環境を考えるヒントになりました。

環境記者の投稿記事は環境情報活動センターのホームページに掲載されています。是非ご覧になってください。新しい発見があるはず!

<http://shinagawa-eco.jp/wp/reporter/>

<「品川区環境記者レポート」で検索>

※環境記者を募集しています。お気軽にご連絡ください。

## こんな講座を開催しました

### 南極を知る、体験する

講師：(株)ミサワホーム総合研究所  
南極研究プロジェクト浅野智一氏

浅野さんは第56次日本南極地域観測隊の越冬隊員で、南極(昭和基地)での1年4か月の仕事を終えてこの3月に帰国したばかりです。



南極の環境の特徴は、①寒い ②風が強い ③昼と夜が、ヘン? ということです。

白夜(一日中太陽が出ている日/下写真)と極夜(一日中太陽が出てこない日)があります。白夜の時は、太陽が地平線を東から西に転がるように移動します。



南極の氷は家庭の冷凍庫で作った氷とは違って小さな泡のようなものが見えますが、これは約2万年前の空気が閉じ込められたものです。水を入れて氷を溶かすと、「プチプチ」と小さな音が出てきました。

私たちが知らない南極について興味深い話を聞くことができました。

## リサイクルショップ「リボン」をご存知ですか?

「リボン」はNPO法人エコタウンしながわが品川区の協力を得て運営しているリサイクルショップです。



旗の台店  
東急池上線・大井町線旗の台駅  
南口から徒歩1分  
03-5498-7803

## 「もったいない...」の気持ちを大切に

### 「ものを大切に使う」をテーマに

洋服、バッグ、雑貨や家具など、ご家庭にある品物の買い取り(旗の台店のみ)や委託販売をしています。「捨てるのはもったいない」、「ご縁があれば他の方に使っていただきたい」、そんな品物がありましたら「リボン」をご利用ください。

## お買い得品や掘り出し物をいろいろと揃えています

「リボン」では、みなさまのご来店をお待ちしています。詳細はそれぞれのお店にお問い合わせください。



大井町店  
品川区役所第三庁舎  
03-5742-6933